

### (1) 業績

当連結会計年度におけるわが国経済は、世界的な不況の進行に伴う連鎖的な株価低迷が続くなかで失業率は悪化の一途をたどり、デフレが進行するなど、景況感に好転の兆しが見られないままに推移しました。

当社グループの属するIT関連業界におきましては、企業の情報化投資は生産性の向上やコスト削減のために必要不可欠な投資であるとの認識はあるものの、投資計画の見直しや先送りの動きが強まりました。

このような状況の中で、当社グループは当期よりスタートした「New-Web戦略」の下、リアルビジネスとWebビジネスとの融合をはかり、「お客様の目線で総合力を活かす」を基本方針として、お客様の視点に立った商品、サービス、企業の価値向上を支援する経営の実現に取り組みました。具体的には「たのめる」、「ODS21」、「SMILEシリーズ」、セキュリティマネージメントビジネスに注力しました。特に、「たのめる」は株式会社イトーヨーカ堂との戦略的提携や、新規顧客の獲得に努めたことにより大きく伸長しました。さらに、セキュリティについては、同業他社とのアライアンスを積極的に行ないました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高3,242億88百万円(前年同期比1.2%減)、営業利益79億90百万円(前年同期比2.3%減)、経常利益77億66百万円(前年同期比1.3%増)、当期純利益24億5百万円(前年同期比5.0%減)となりました。

### システムインテグレーション事業

コンサルティングからシステム設計・開発、搬入設置工事、ネットワーク構築まで最適なシステムを提供するシステムインテグレーション事業では、ナレッジマネジメントオフィスを実現する「ODS21」や、オリジナルERPソフトの「SMILE」および完全Web対応版の「SMILEie」に注力しましたが、引き続き企業のIT関連投資の抑制傾向が大きく影響したため、売上高は2,196億90百万円(前年同期比4.7%減)となりました。

### サービス&サポート事業

サプライ供給、ハード&ソフト保守、テレフォンサポート、教育などによりシステム導入後をトータルにサポートするサービス&サポート事業では、「たのめーる」が環境対応商品など品揃えの充実もあり、着実に市場に浸透して順調に推移しました。また、セキュリティビジネス(「OSM(Otsuka Security Management)」)などに注力した結果、売上高は1,033億79百万円(前年同期比7.3%増)となりました。

### その他の事業(建設業等)

全体として建設業界は引き続き厳しい状態にありましたが、新規開拓に努めた結果、売上高は12億19百万円(前年同期比2.7%減)となりました。

### (2) 当社が対処すべき課題

今後の経済状況につきましては、米国経済の緩やかな回復が見込まれるものの、イラク問題への対応や景気浮揚対策の実効性など不確定要素もあり、次期もデフレ下での厳しい経済環境が続くものと推測されます。

しかしながら、企業のIT投資は規模の大小にかかわらず、さらなる生産性の向上やコスト削減を図るための必要不可欠な投資であり、加えて、e-Japan計画の具体的進展や税制面の優遇措置などにより、IT投資は底堅く推移するものと予測されます。

当社グループは、このような経営環境や経営課題に柔軟に対応できるよう、経営の質を充実させ、収益力の一層の向上を図ってまいります。具体的には、継続取引ユーザーの維持・拡大、「トータル サポート21」の強化、「New-Web戦略」の推進、「たのめーる」、「ODS21」、「SMILEシリーズ」への注力を軸に売上の伸長と収益力の確保を図り、あわせて事業評価をさらに徹底したうえで、これら今後伸長が期待できる事業領域に経営資源を集中させ、グループ経営の一層の向上に取り組んでまいります。

以上により、次期の連結業績見通しといたしましては、売上高は3,385億円(前年同期比4.4%増)、経常利益は85億50百万円(前年同期比10.1%増)、当期純利益は22億円(前年同期比8.5%減)を計画しております。

本事業報告書に記載しております次期の業績見通しなど将来についての事項は、予期しえない経済状況の変化などさまざまな要因があるため、その結果について、当社グループが保証するものではありません。